



【かいたくしざっぽろほんちようほんちようしゃあとおよびきゅうほっかいどうちようほんちようしゃ】

開拓使札幌本庁本庁舎跡および旧北海道庁本庁舎

失われた開拓使札幌本庁舎

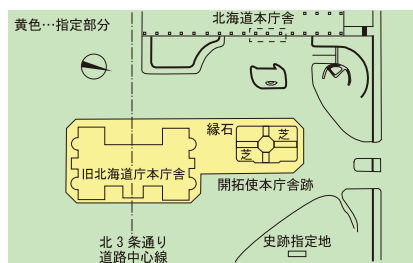
開拓使札幌本庁舎は、明治6(1873)年10月に完成した木造2階建ての洋風建築であった。

基本設計は、ケブロンやアメリカ人顧問であろうといわれているが、明確な根拠はない。実施設計は岩瀬隆弘、安達喜幸ら開拓使技術者である。

庁舎の本体の上に、やや大き目の展望層を備えた八角塔をのせていた。これは当時、アメリカの官公庁、州議事堂の建築によくみられるものであり、本州における初期洋風建築とは異なった発展過程を示す貴重な建物であった。

建設位置の確認

明治12(1879)年1月、開拓使札幌本庁舎は失火で付属舎を除き全焼した。その後、同15(1882)年、開拓使は廃止され、3県1局時代を経て、同19(1886)年、北海道庁が設けられるとともに、同21(1888)



年、旧北海道庁本庁舎(赤れんが庁舎)(10ページ)が完成した。

昭和42(1967)年秋、焼失した開拓使札幌本庁舎の基礎木杭穴、煙突基礎石などが発見され、建設位置が旧北海道庁本庁舎の北側であったことが判明した。

同年、開拓使札幌本庁舎跡は、北海道庁旧本庁舎とともに史跡に指定された。

概要

指定面積 4,345.5 m²



旧開拓使札幌本庁舎を復元
(北海道開拓の村)

- **建築年代:** 明治6(1873)年、明治21(1888)年
- **指定年月日:** 昭和42(1967)年12月15日
- **所在地:** 札幌市中央区北2・3条西5・6丁目
- **お問い合わせ:** 北海道庁 ☎ 231-4111
- **観覧形態、休館日**
北海道庁旧本庁舎は大規模改修のため令和元(2019)年10月1日より休館
- **観覧料:** 無料
- **アクセス:** 地下鉄南北線・東豊線「さっぽろ」11番出口より約300m
JRバス・中央バス「札幌駅南」

